

栗田工業株式会社

2014年3月期 第2四半期決算説明会



(証券コード: 6370)

2013年11月1日

目次



I 2014年3月期上期実績

II 2014年3月期通期計画

III 今後の見通しと施策

参考資料

2014年3月期上期実績

1. 業績ハイライト
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
3. 水処理薬品事業
4. 水処理装置事業（電子産業向け）
5. 水処理装置事業（一般産業向け）
6. サービス事業売上高内訳
7. 海外事業（地域別・事業別売上高とアジア関係会社）
8. 設備投資・減価償却費・研究開発費
9. 財政状態

1. 業績ハイライト

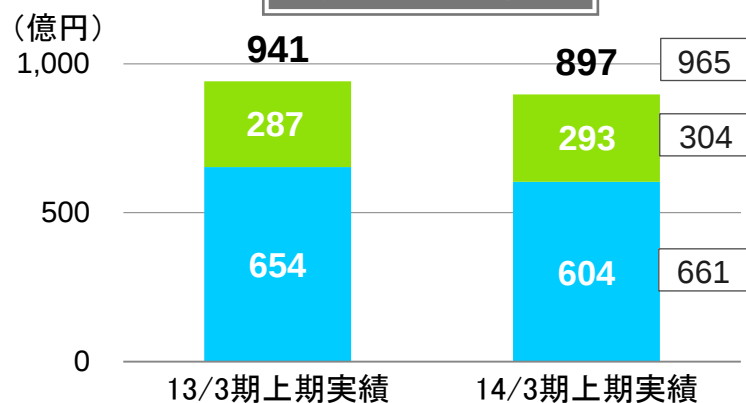
(億円)

	2013/3期 上期実績	2014/3期 上期期初計画	2014/3期 上期実績	前年同期比
受 注 高	941	965	897	- 4.6%
売 上 高	902	905	828	- 8.3%
営 業 利 益	109	100	67	- 38.3%
経 常 利 益	113	102	72	- 36.9%
四 半 期 純 利 益	49	61	41	- 15.6%

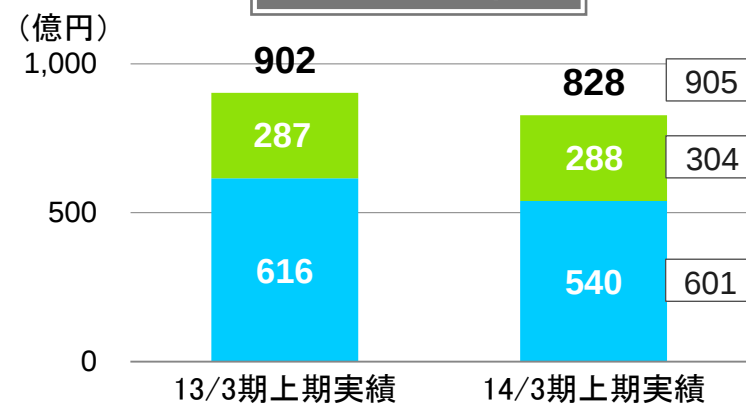
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

 水処理薬品事業
  水処理装置事業
  全社
 *  内は期初計画

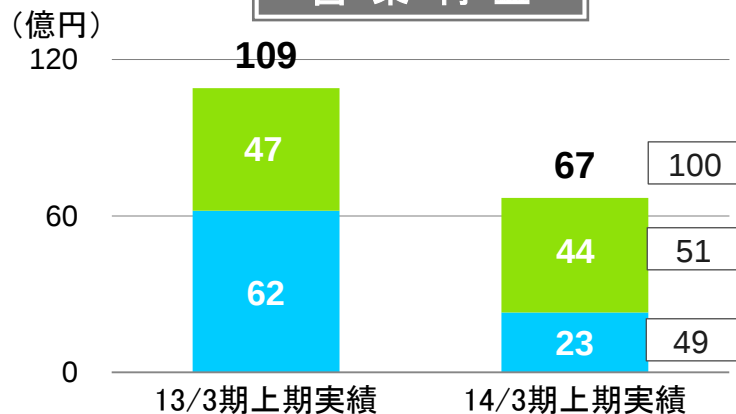
受 注 高



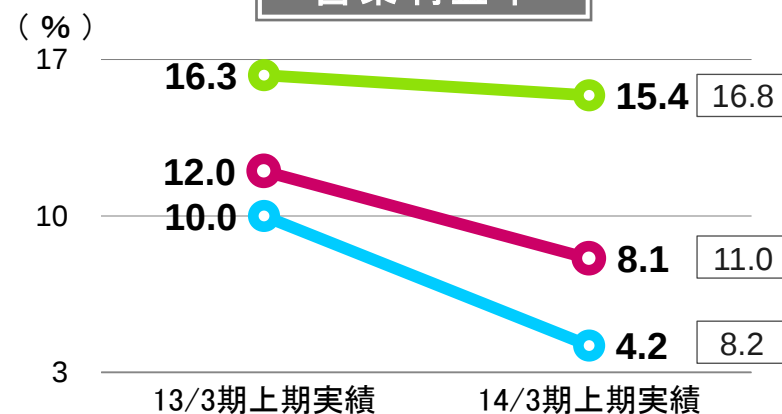
売 上 高



営 業 利 益



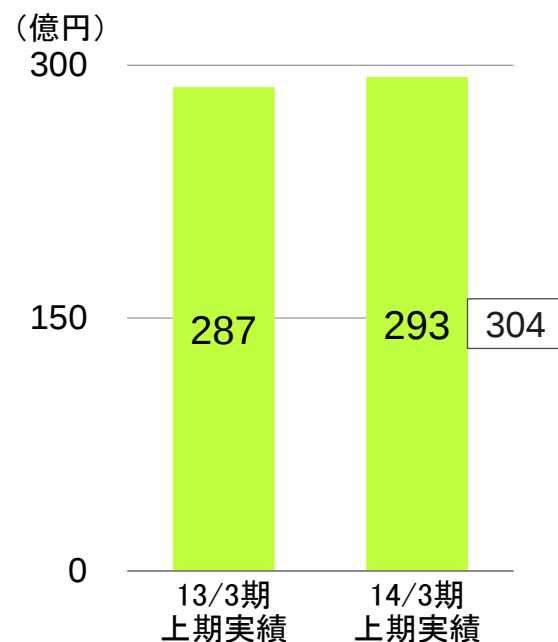
営 業 利 益 率



3. 水処理薬品事業

受 注 高

* □ 内は期初計画

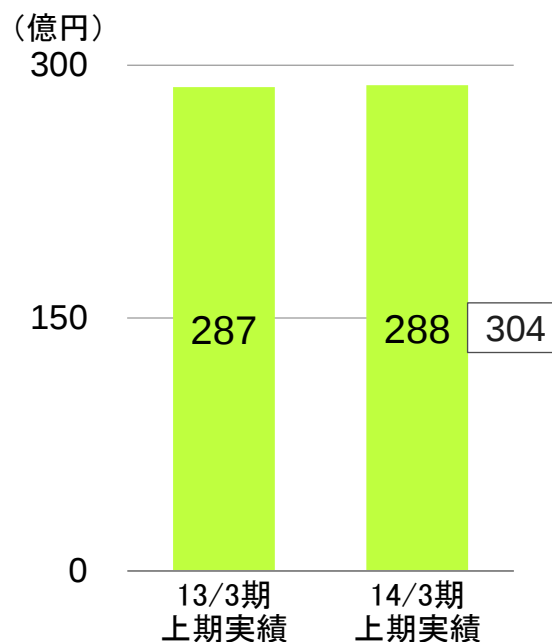


【主な増減分野】

- 国内: 主力商品の減少 (-)
- 海外: 中国・東南アジアが伸長 (+)
為替換算差 (+)

売 上 高

* □ 内は期初計画



【主な増減分野】

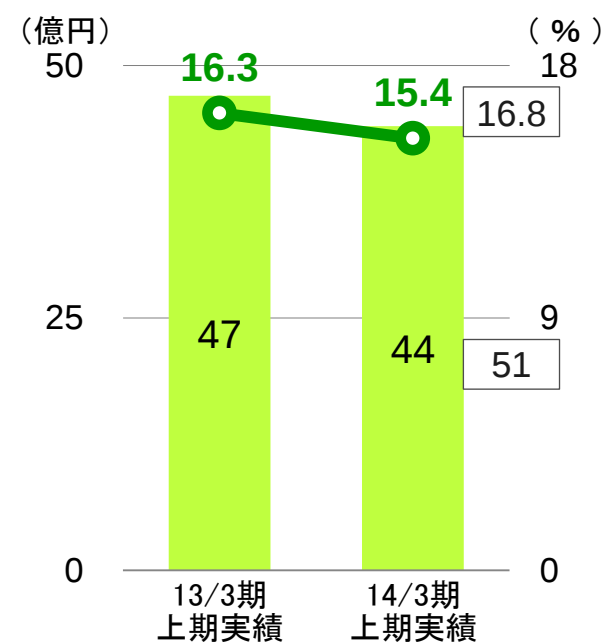
- 国内: 主力商品の減少 (-)
- 海外: 中国・東南アジアが伸長 (+)
為替換算差 (+)

営業利益・営業利益率

営業利益

営業利益率

* □ 内は期初計画



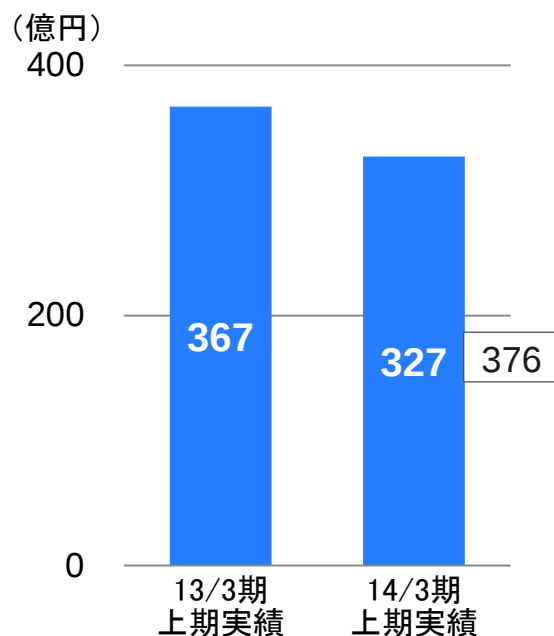
【主な増減要因】

- 販管費の増加 (-)

4. 水処理装置事業（電子産業向け）

受 注 高

* □ 内は期初計画

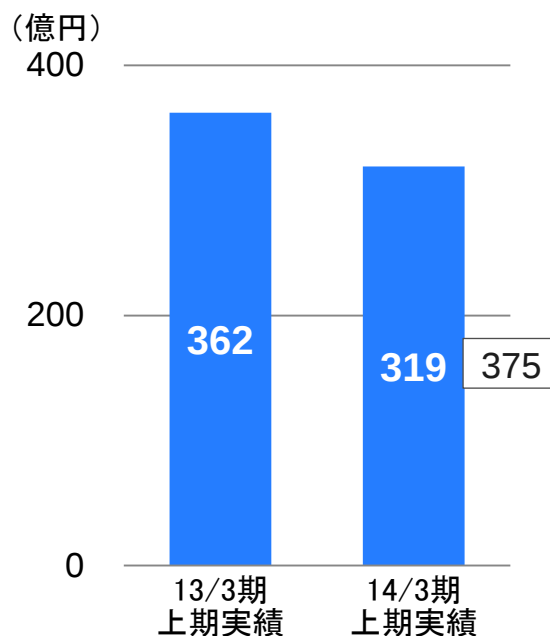


【主な増減分野】

- ハードの減少 (-)
- 超純水供給事業の減少 (-)

売 上 高

* □ 内は期初計画



【主な増減分野】

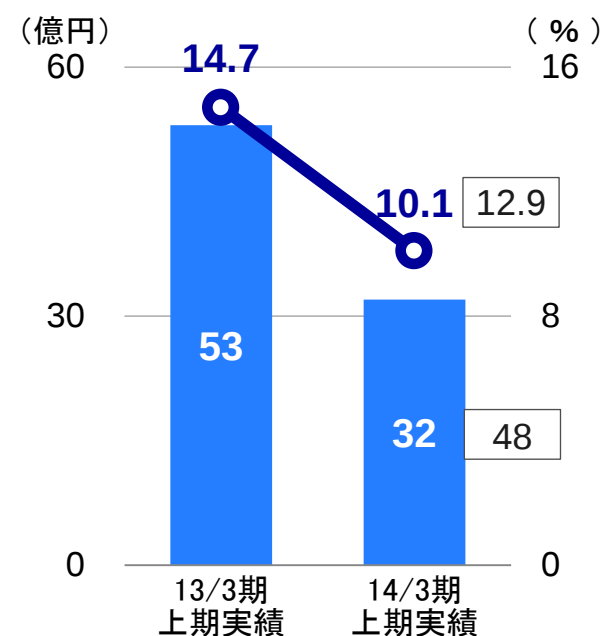
- ハードの減少 (-)
- 超純水供給事業の減少 (-)

営業利益・営業利益率

営業利益

営業利益率

* □ 内は期初計画



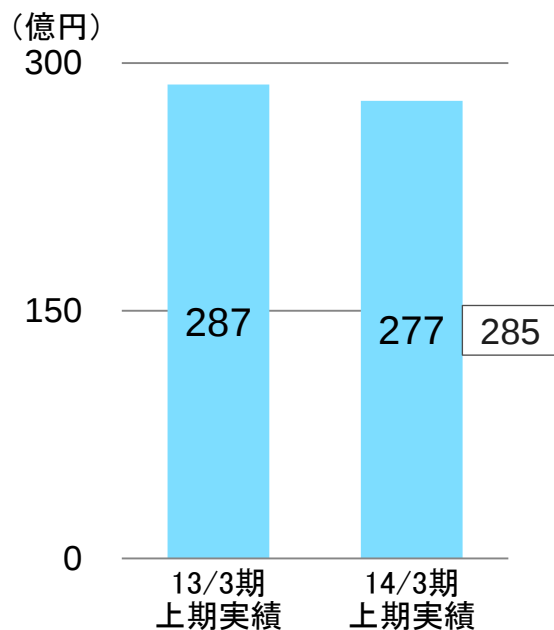
【主な増減要因】

- 減収の影響 (-)
- 原価率の悪化 (-)
- 販管費の増加 (-)

5. 水処理装置事業（一般産業向け）

受 注 高

* □ 内は期初計画

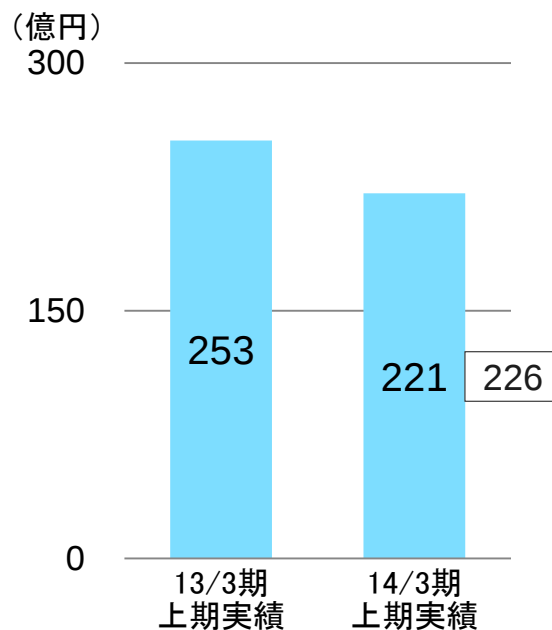


【主な増減分野】

- 一般向けハードの減少 (-)
- 電力向けハードの減少 (-)
- メンテナンスの減少 (-)

売 上 高

* □ 内は期初計画

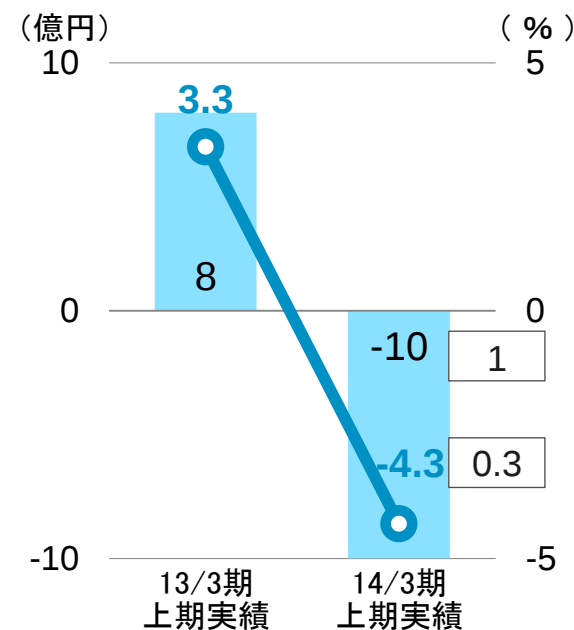


【主な増減分野】

- 電力向けハードの減少 (-)
- メンテナンスの減少 (-)

営業利益・営業利益率

営業利益 営業利益率
* □ 内は期初計画



【主な増減要因】

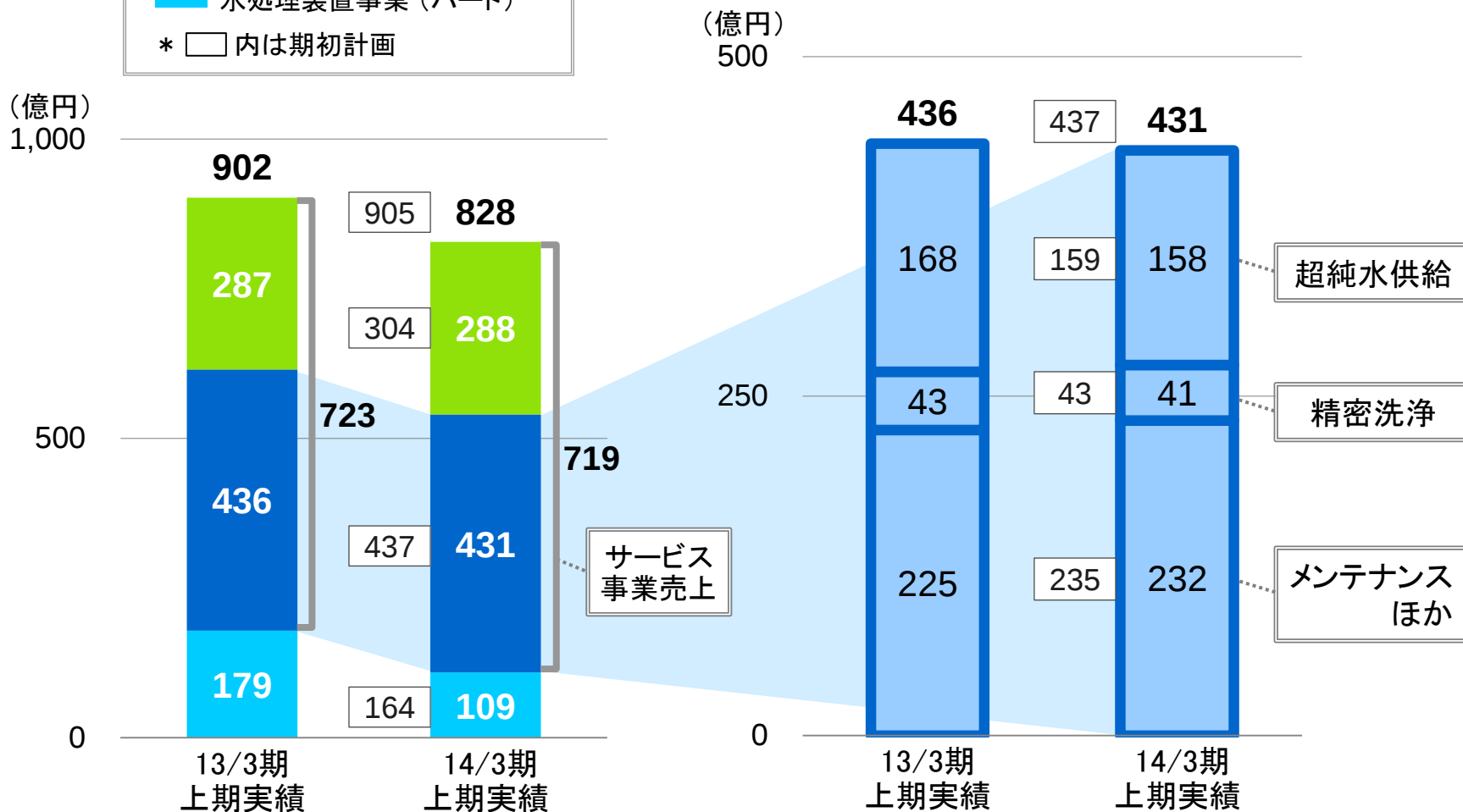
- 減収の影響 (-)
- 原価率の悪化 (-)
- 販管費の増加 (-)

6. サービス事業売上高内訳

- 水処理薬品事業
- 水処理装置事業（サービス）
- 水処理装置事業（ハード）
- * □ 内は期初計画

装置事業中のサービス事業売上高内訳

* □ 内は期初計画



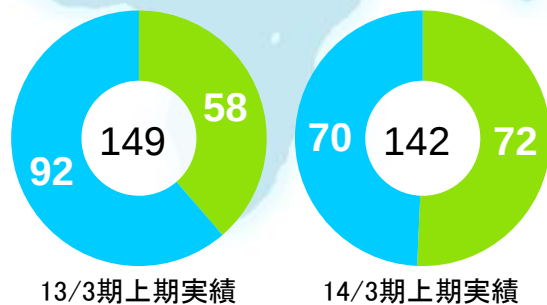
7. 海外事業（地域別・事業別売上高とアジア関係会社）

（単位：億円）

欧州

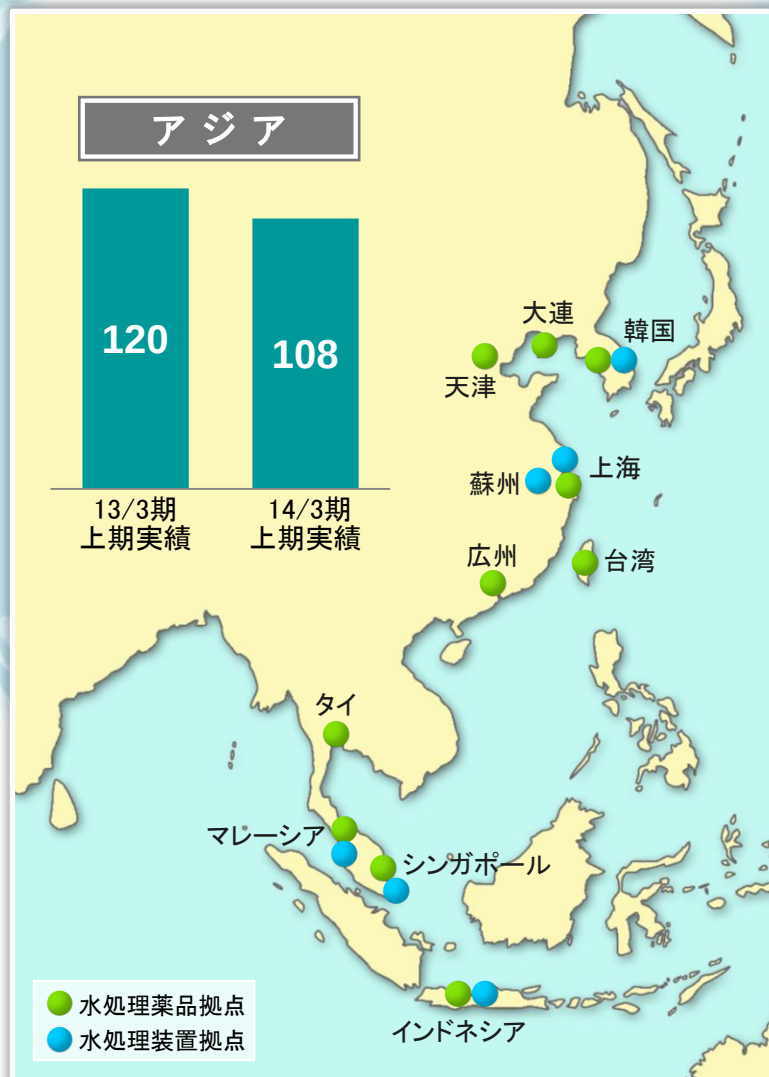
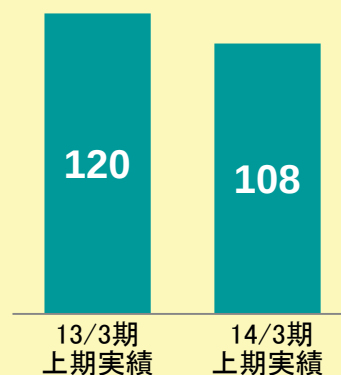


事業別

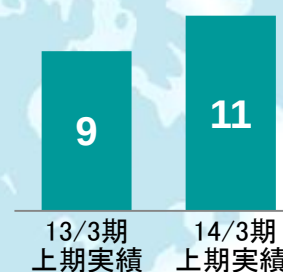


水処理薬品事業
 水処理装置事業

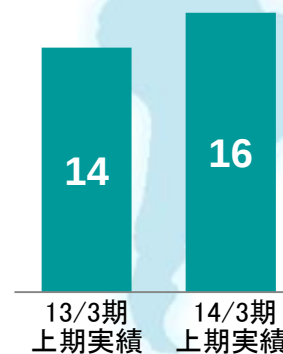
アジア



北米

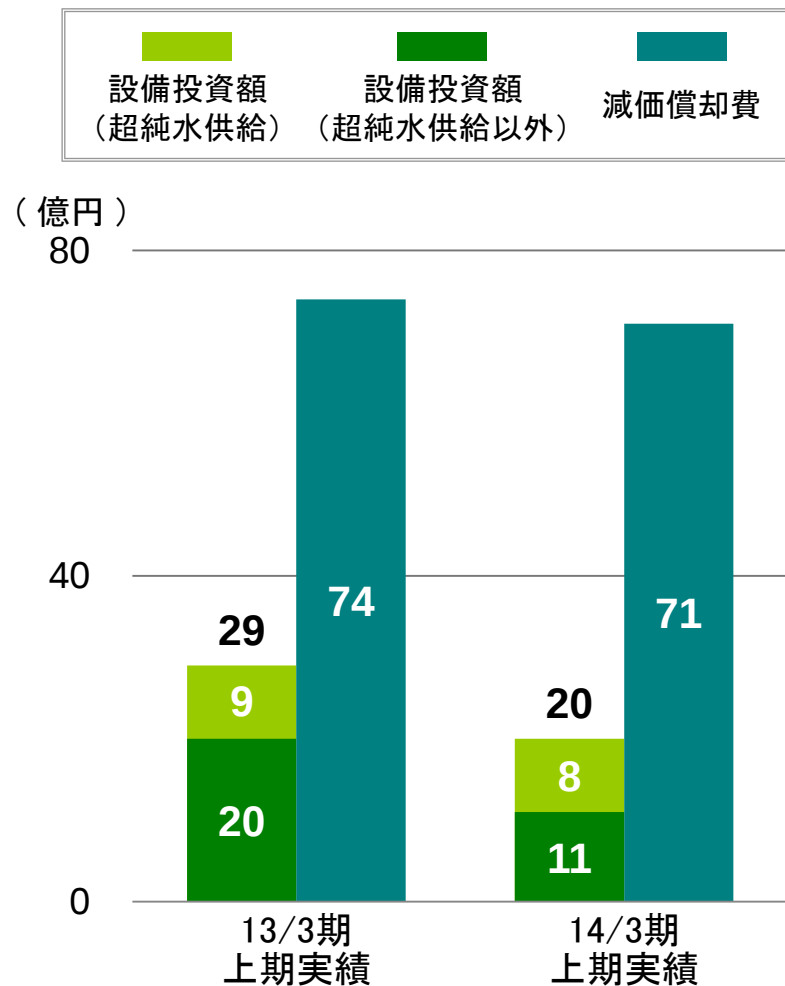


その他

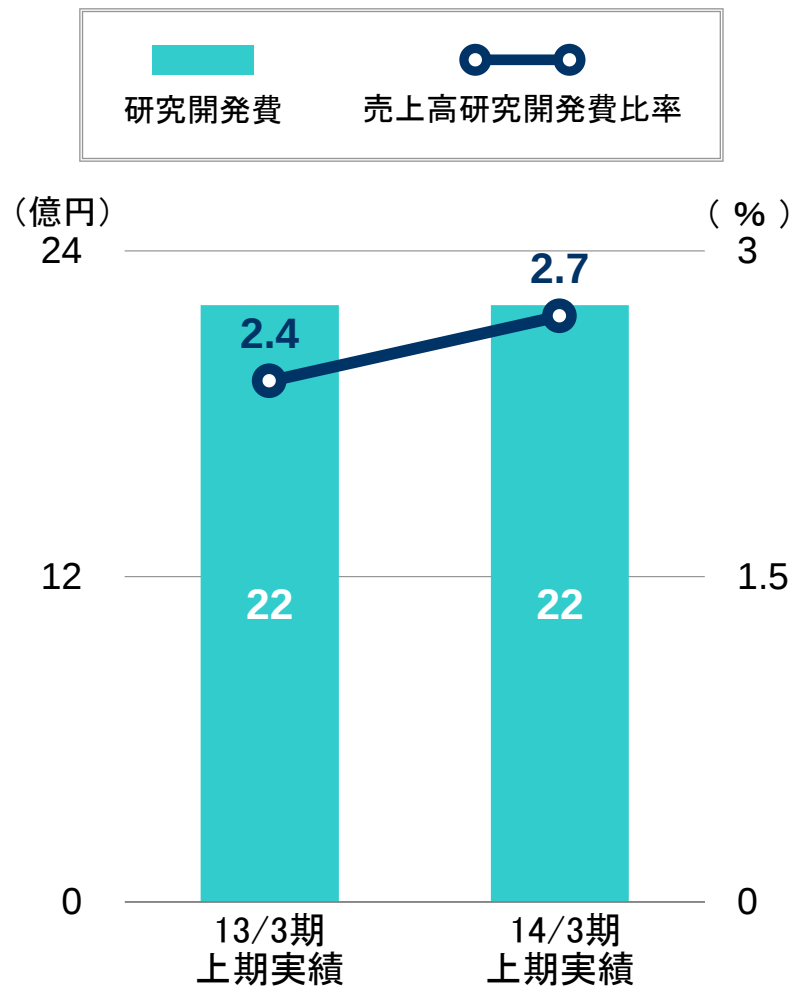


8. 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資・減価償却費



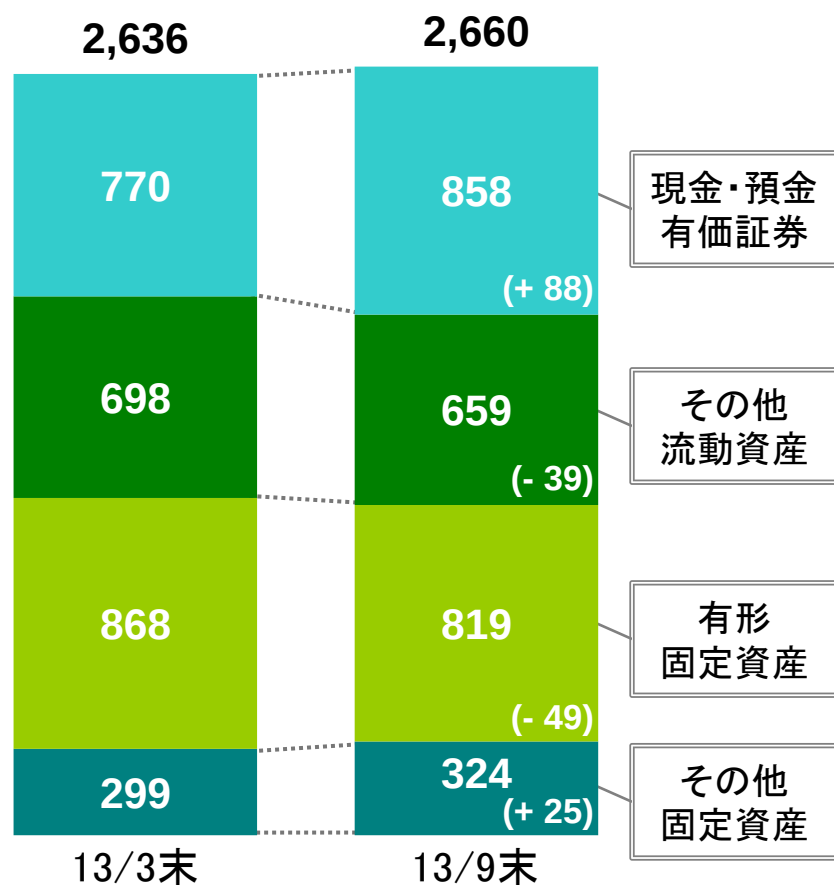
研究開発費



9. 財政状態

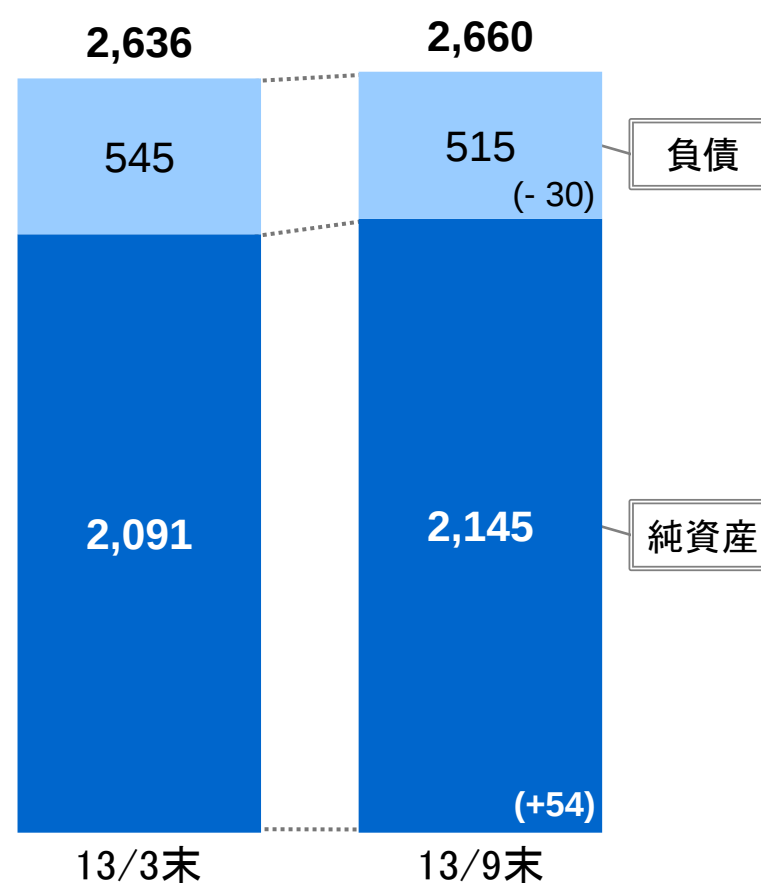
資 産

(億円)



負 債 ・ 純 資 産

(億円)



2014年3月期通期計画

1. 総括
2. 前提条件
3. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
4. 水処理薬品事業
5. 水処理装置事業（電子産業向け）
6. 水処理装置事業（一般産業向け）
7. サービス事業売上高内訳
8. 海外事業（地域別・事業別売上高）
9. 超純水供給事業
10. 設備投資・減価償却費・研究開発費
11. 利益配分方針

1. 総括

(億円)

	2013/3期 実績	2014/3期 期初計画	2014/3期 修正計画	前期比
受 注 高	1,867	1,970	1,810	- 3.1%
売 上 高	1,801	1,910	1,760	- 2.3%
営 業 利 益	210	235	150	- 28.5%
経 常 利 益	220	240	158	- 28.3%
当 期 純 利 益	115	140	90	- 21.6%

2. 前提条件

政府の景気刺激策や円高是正を背景に企業業績が回復し、顧客の操業度や設備投資も徐々に回復に向かうと思われるが、当社の業績に結びつくまでにタイムラグがある。



水処理薬品事業

- 国内顧客の操業度は徐々に回復に向かう
- 新興国の経済成長に鈍化懸念



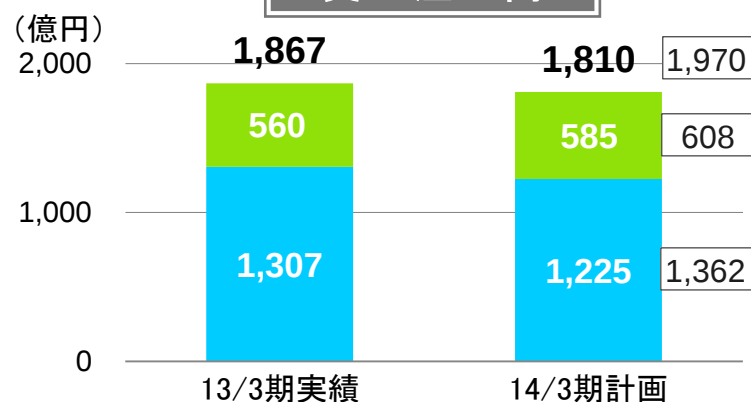
水処理装置事業

- 半導体・液晶の一部に設備投資の動きはあるが、全体的には低調
- 一般産業の設備投資は当面は低調に推移

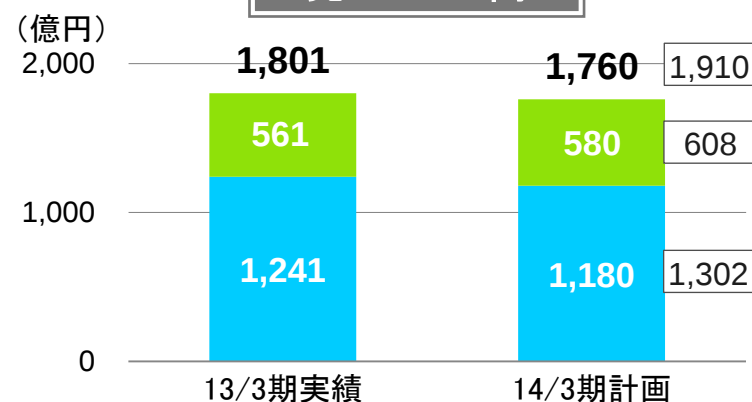
3. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

水処理薬品事業
 水処理装置事業
 全社
 * 内は期初計画

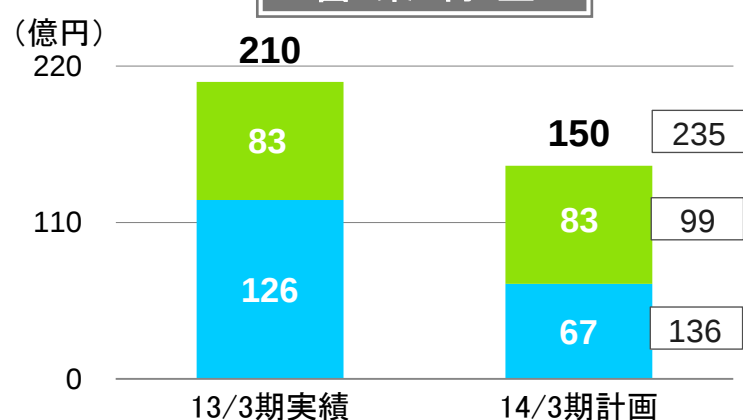
受 注 高



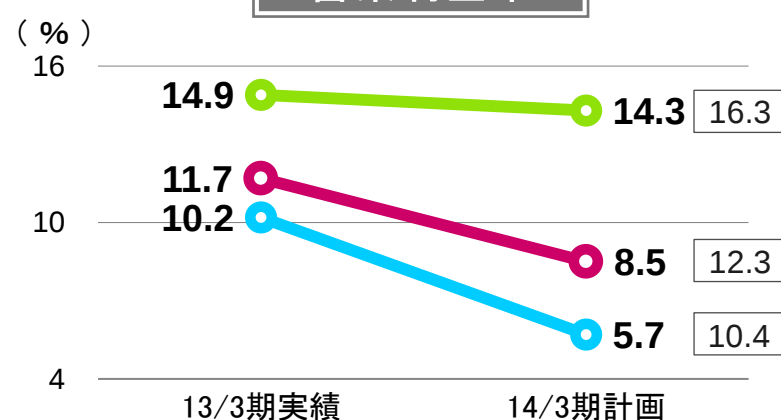
売 上 高



営 業 利 益



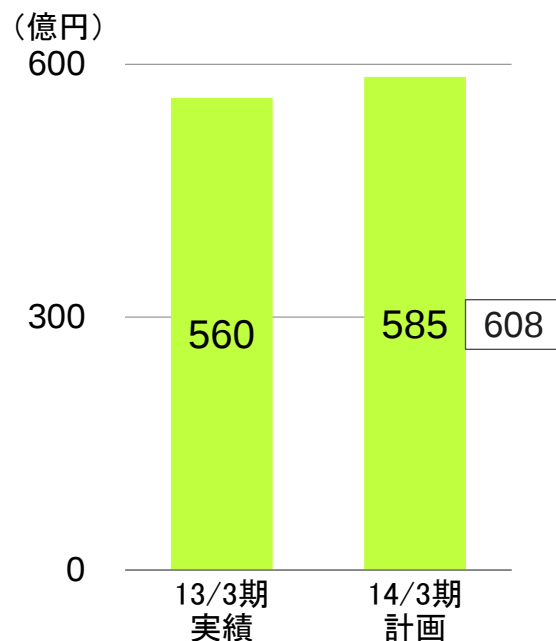
営 業 利 益 率



4. 水処理薬品事業

受 注 高

* □ 内は期初計画

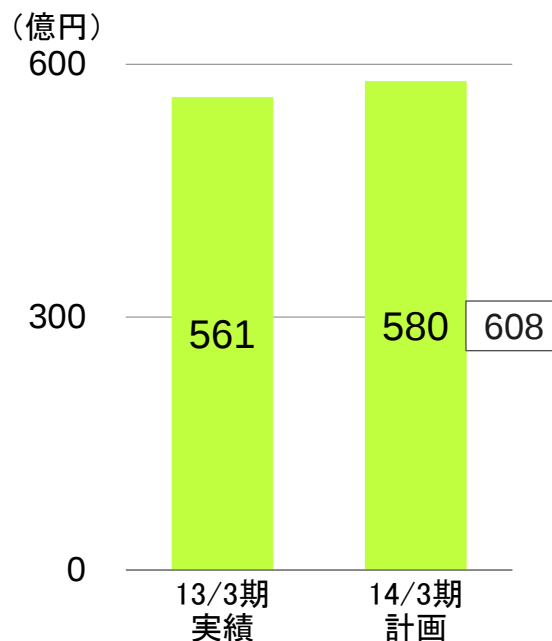


【主な増減分野】

- 国内:顧客操業度の回復の遅れ(-)
- 海外:アジアを中心に成長持続(+)

売 上 高

* □ 内は期初計画



【主な増減分野】

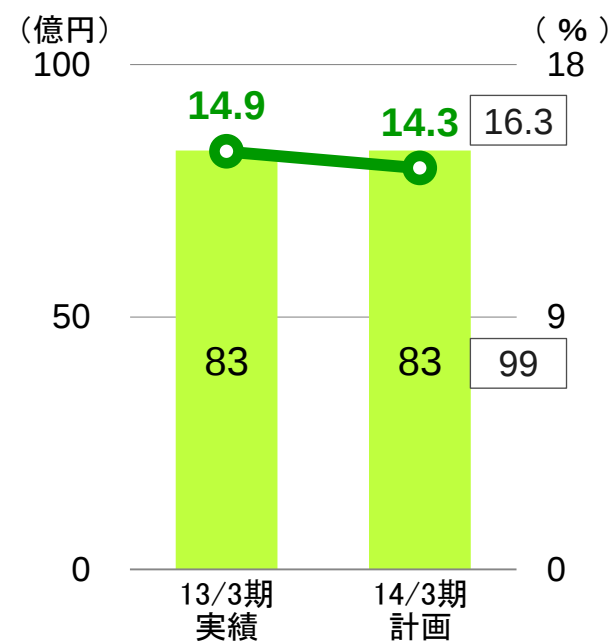
- 国内:顧客操業度の回復の遅れ(-)
- 海外:アジアを中心に成長持続(+)

営業利益・営業利益率

営業利益

営業利益率

* □ 内は期初計画



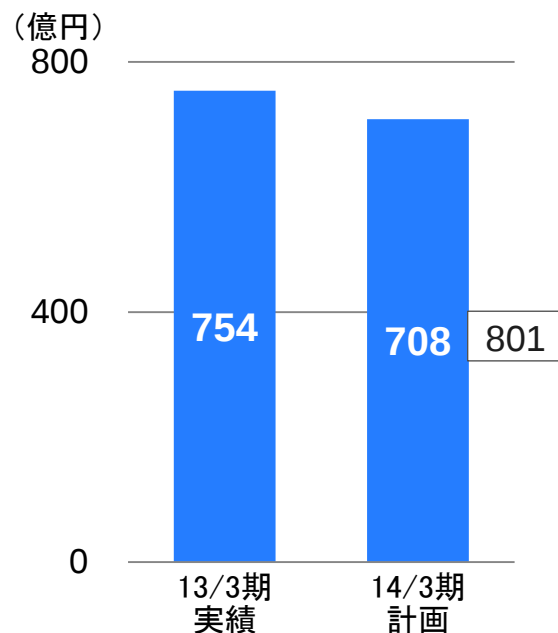
【主な増減要因】

- 増収効果(+)
- 原価率の改善(+)
- 販管費の増加(-)

5. 水処理装置事業（電子産業向け）

受 注 高

* □ 内は期初計画

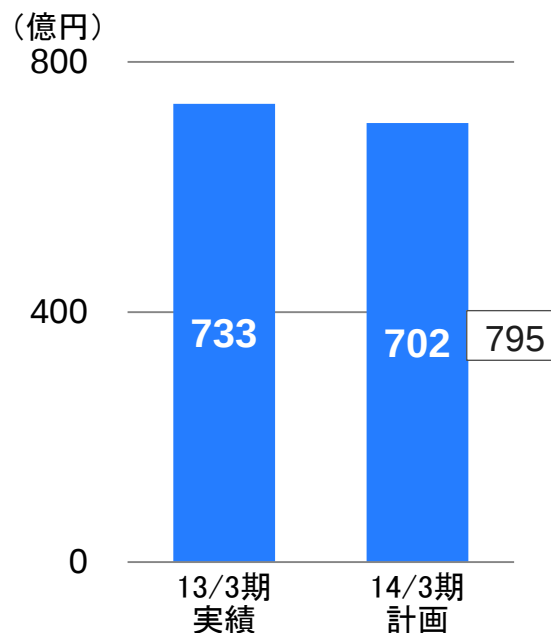


【主な増減分野】

- ハードの減少 (-)
- メンテナンスの減少 (-)
- 超純水供給事業の減少 (-)

売 上 高

* □ 内は期初計画



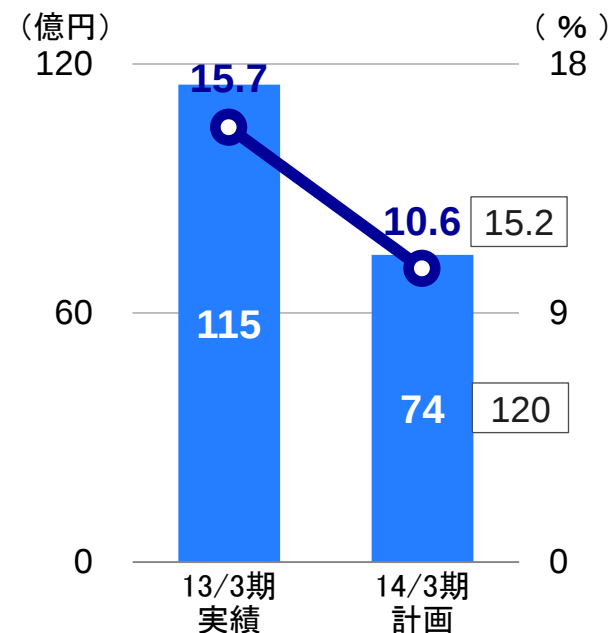
【主な増減分野】

- ハードの減少 (-)
- メンテナンスの減少 (-)
- 超純水供給事業の減少 (-)

営業利益・営業利益率

営業利益 営業利益率

* □ 内は期初計画



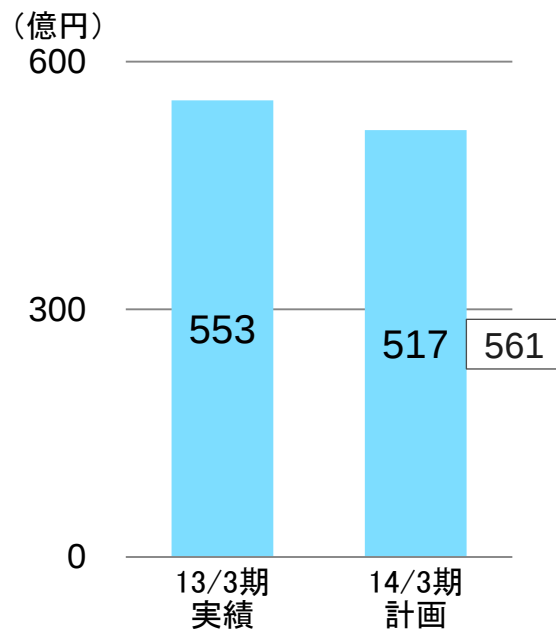
【主な増減要因】

- 減収の影響 (-)
- 原価率の悪化 (-)
- 販管費の増加 (-)

6. 水処理装置事業（一般産業向け）

受 注 高

* □ 内は期初計画

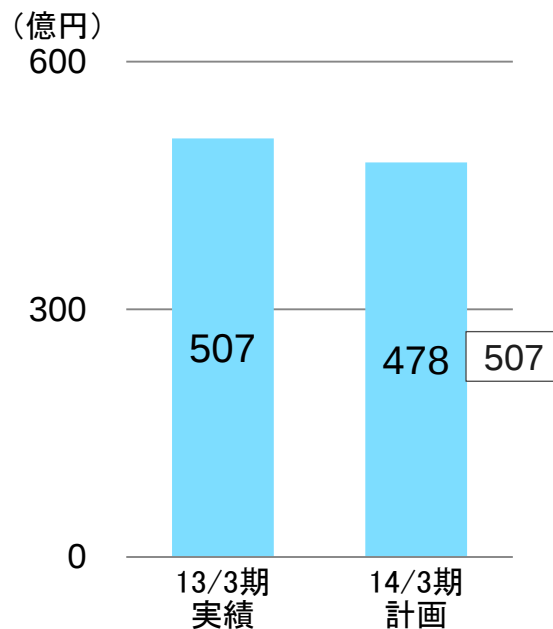


【主な増減分野】

- 一般向けハードの減少 (-)
- 電力向けハードの減少 (-)

売 上 高

* □ 内は期初計画



【主な増減分野】

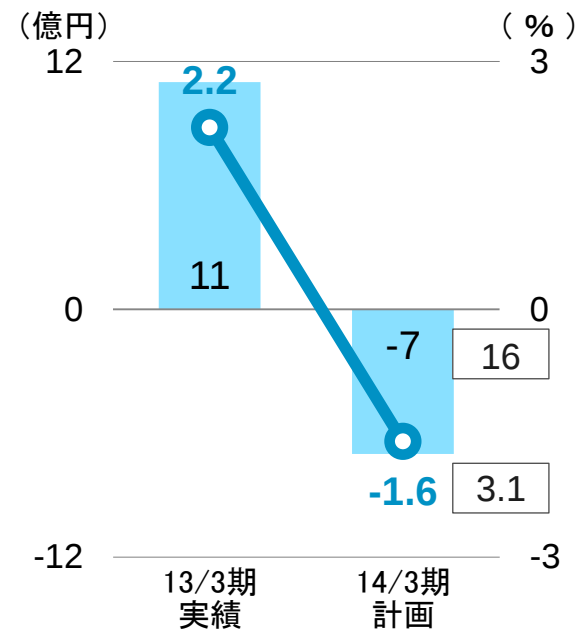
- 電力向けハードの減少 (-)
- 一般向けハードの減少 (-)

営業利益・営業利益率

営業利益

営業利益率

* □ 内は期初計画

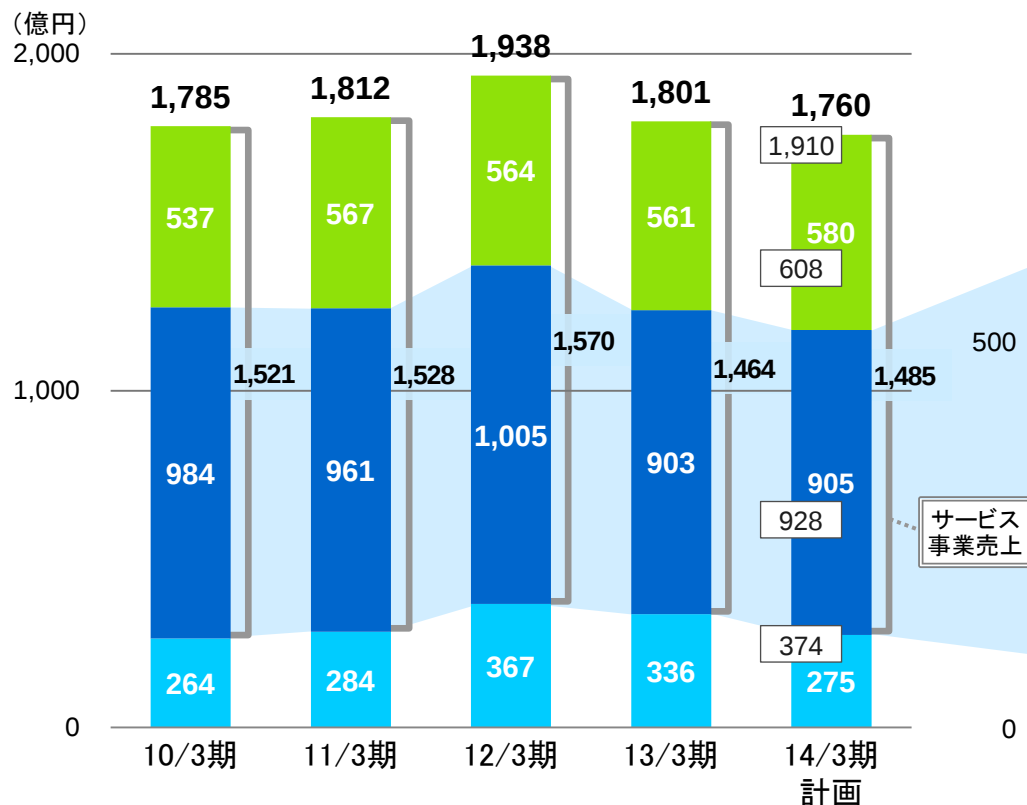


【主な増減要因】

- 減収の影響 (-)
- 原価率の悪化 (-)
- 販管費の増加 (-)

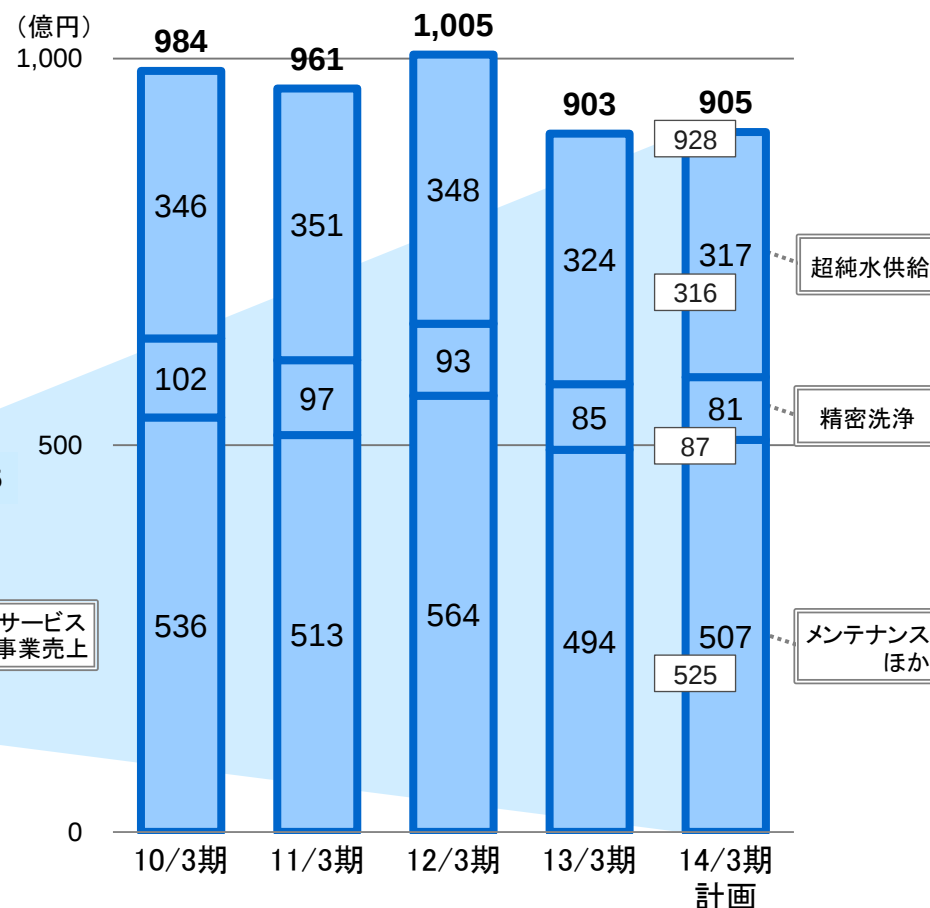
7. サービス事業売上高内訳

- 水処理薬品事業
- 水処理装置事業(サービス)
- 水処理装置事業(ハード)
- * □ 内は期初計画



装置事業中のサービス事業売上高内訳

* □ 内は期初計画

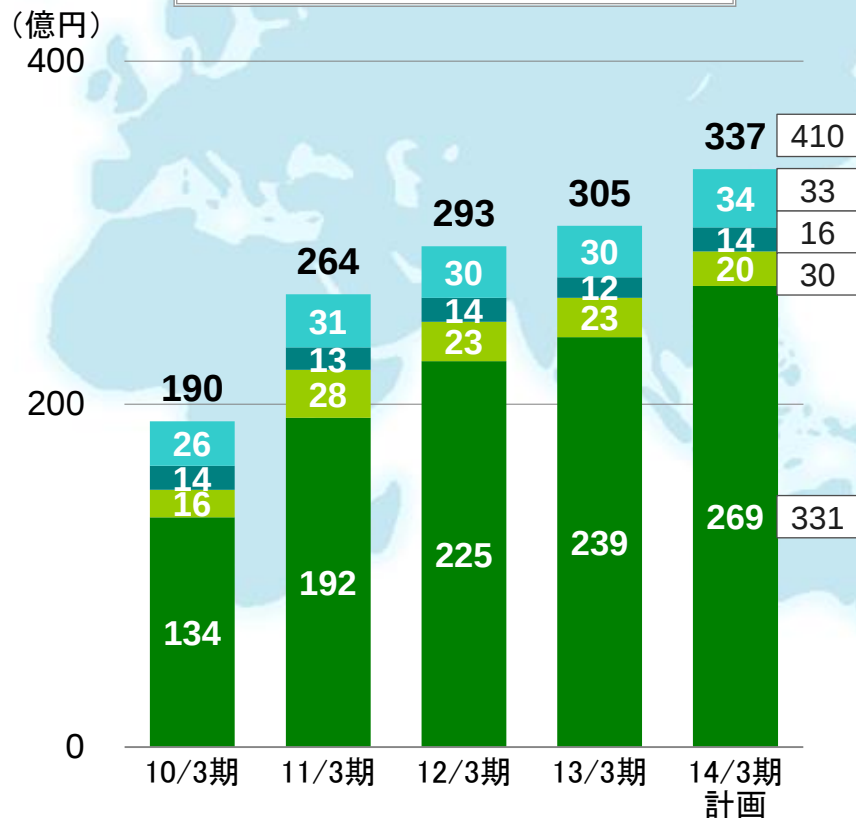


8. 海外事業（地域別・事業別売上高）

海外地域別売上高

アジア 北米 欧州 その他

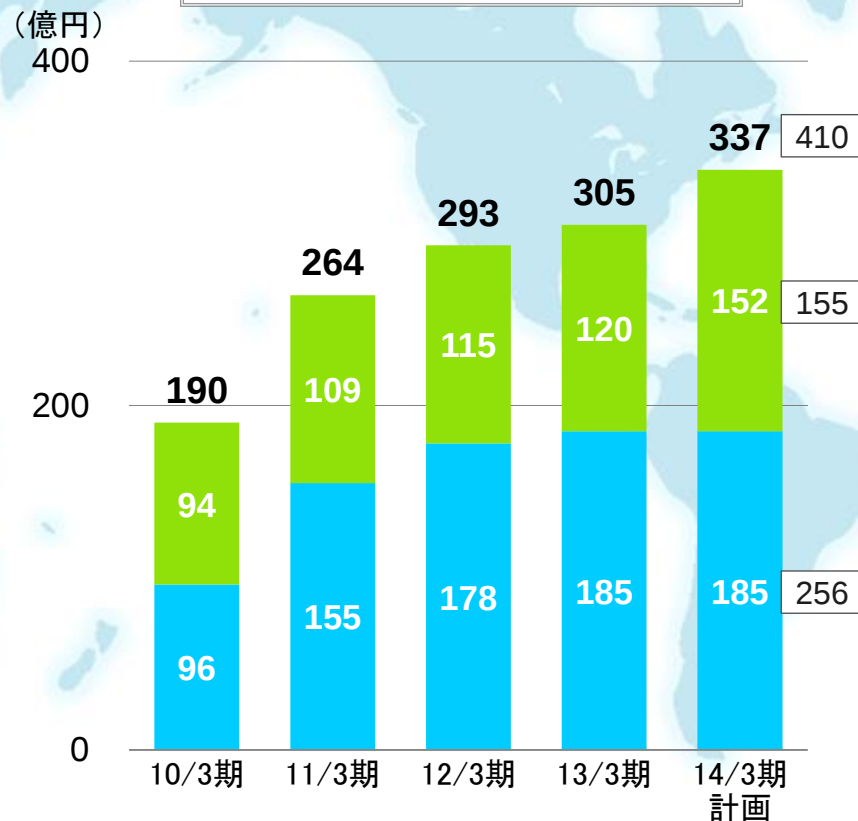
* □内は期初計画



海外事業別売上高

水処理薬品事業 水処理装置事業

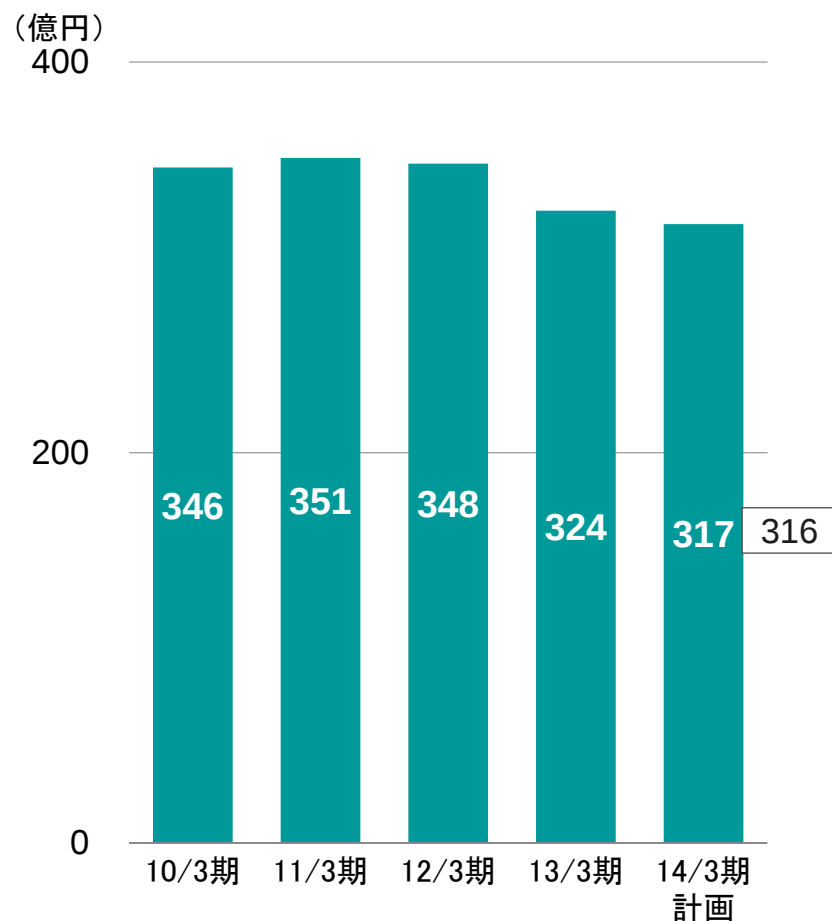
* □内は期初計画



9. 超純水供給事業

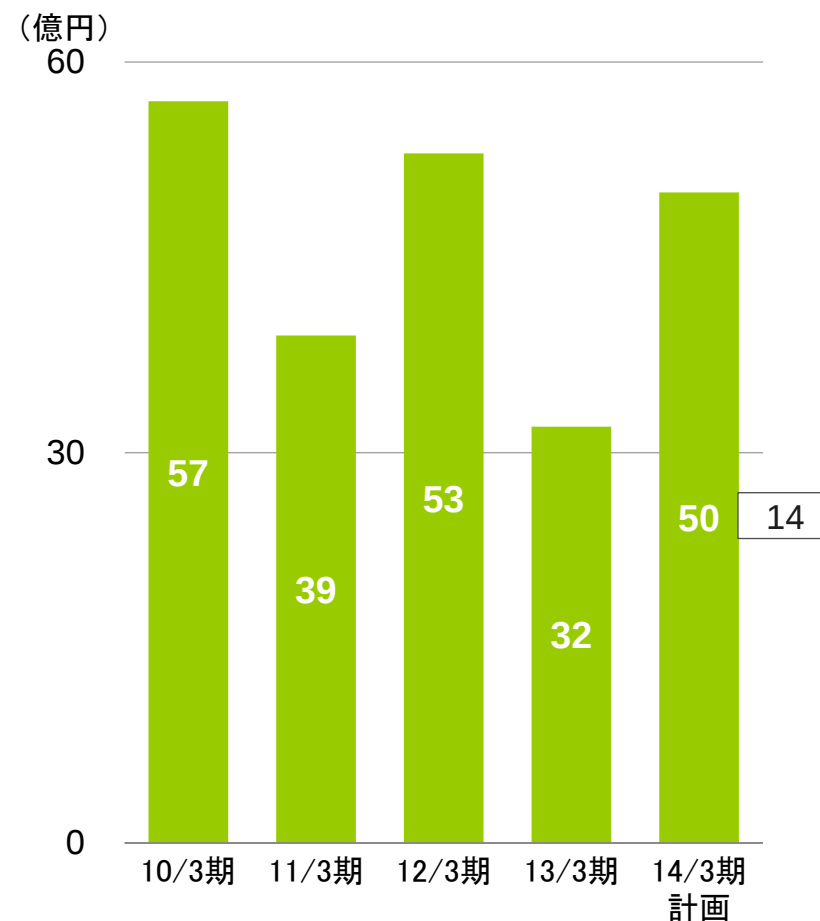
売上高

* □ 内は期初計画



設備投資額

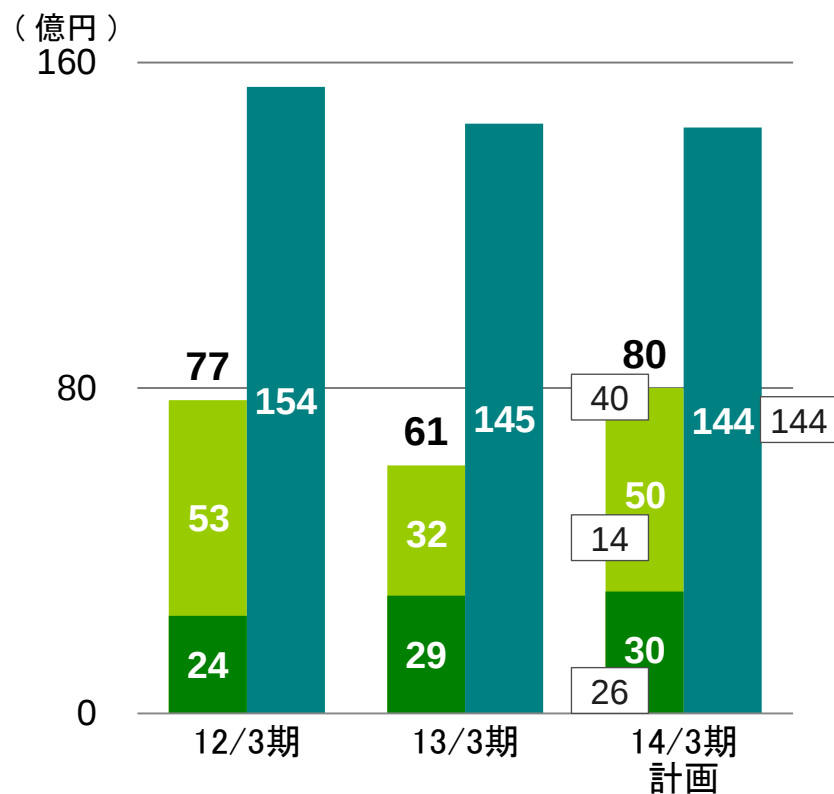
* □ 内は期初計画



10. 設備投資・減価償却費・研究開発費

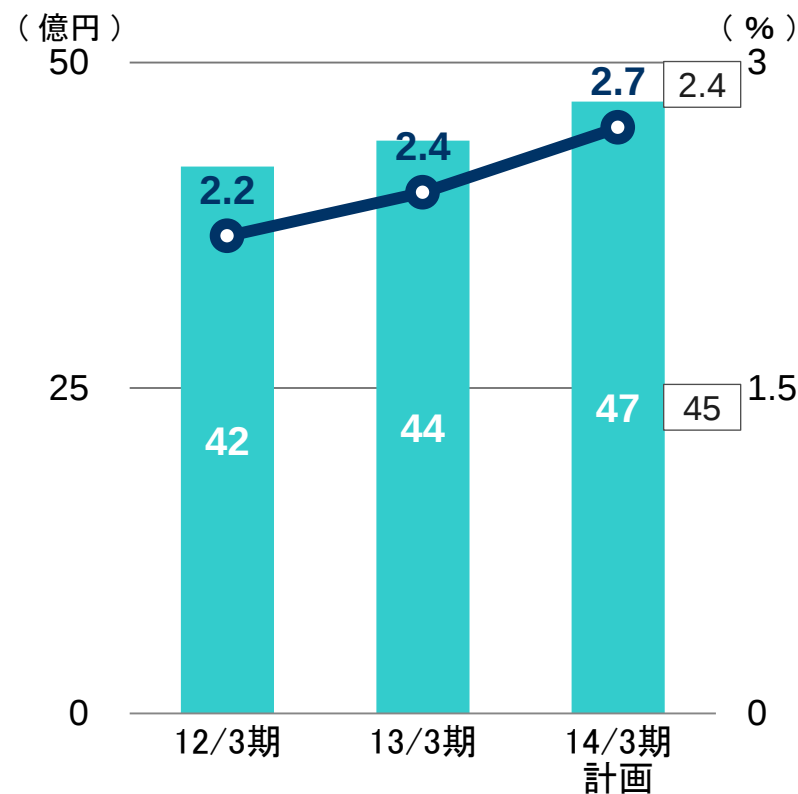
設備投資・減価償却費

■ 設備投資額 (超純水供給)
■ 設備投資額 (超純水供給以外)
■ 減価償却費
 * □ 内は期初計画

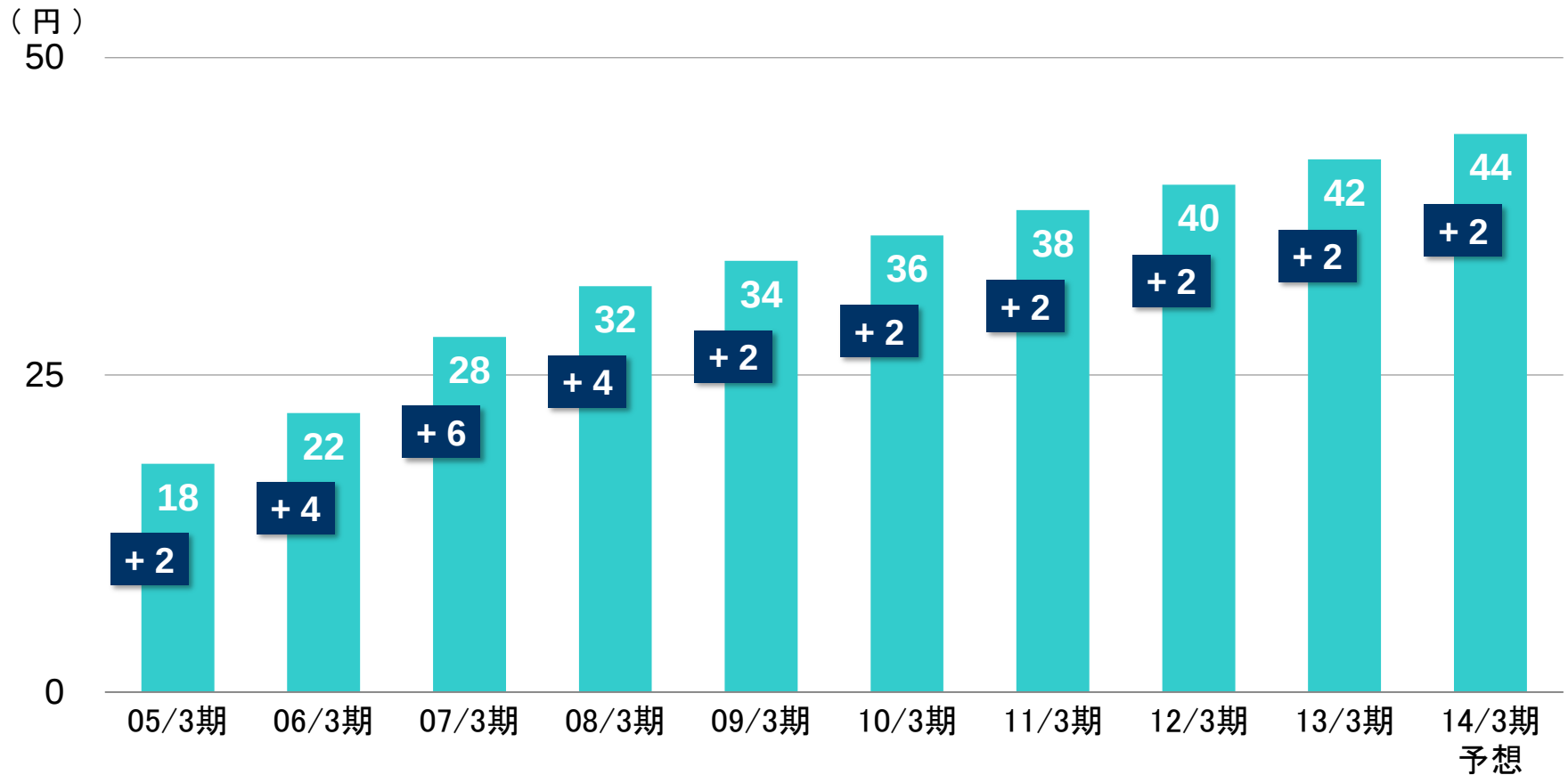


研究開発費

■ 研究開発費
—○— 売上高研究開発費比率
 * □ 内は期初計画



11. 利益配分方針



【配当に関する基本方針】

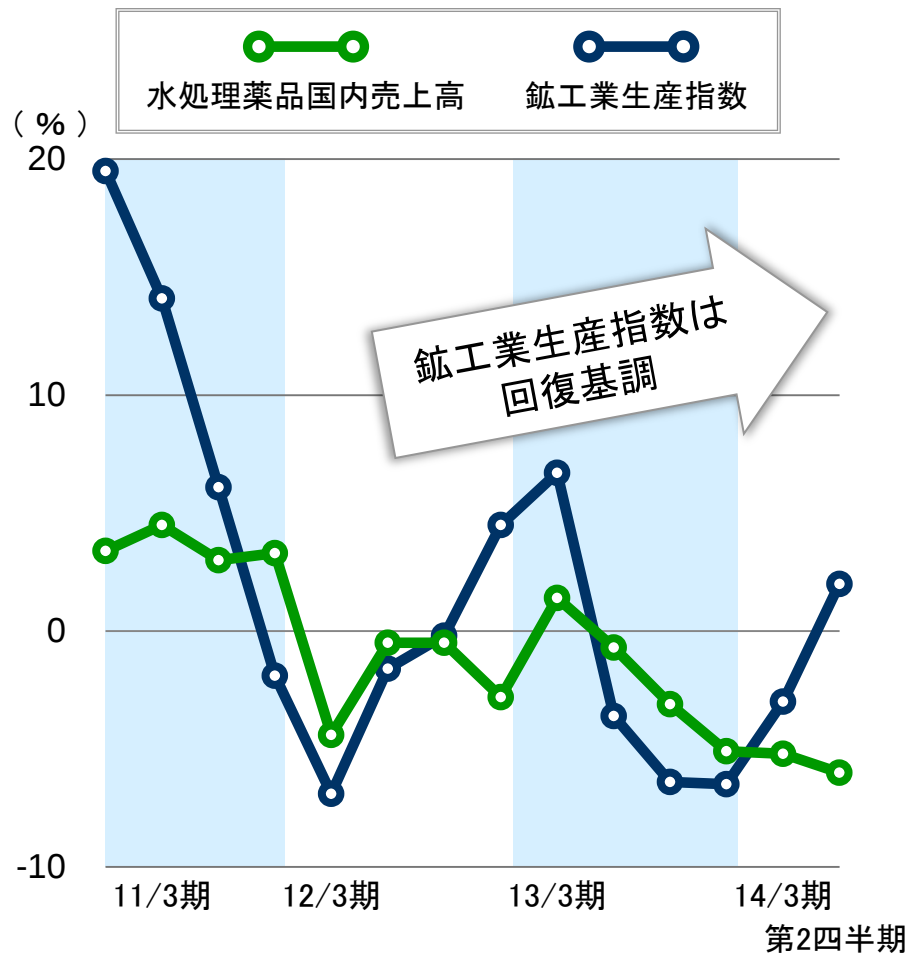
安定配当の継続を基本方針とし、業績の推移および事業への投資を勘案のうえ、配当の増額に努めてまいります。

今後の見通しと施策

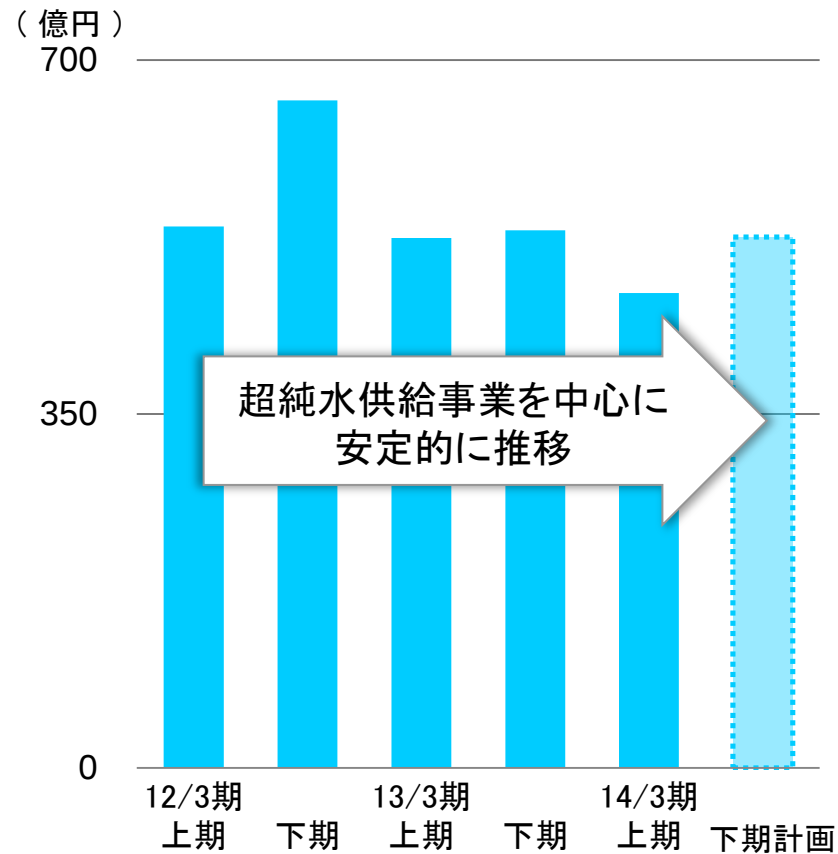
1. 国内需要見通し
2. 海外需要見通し
3. 営業利益率の推移
4. 収益性の強化
5. 海外地域別施策

1. 国内需要見通し

水処理薬品国内売上高と鉱工業生産指数
(前年同期比)

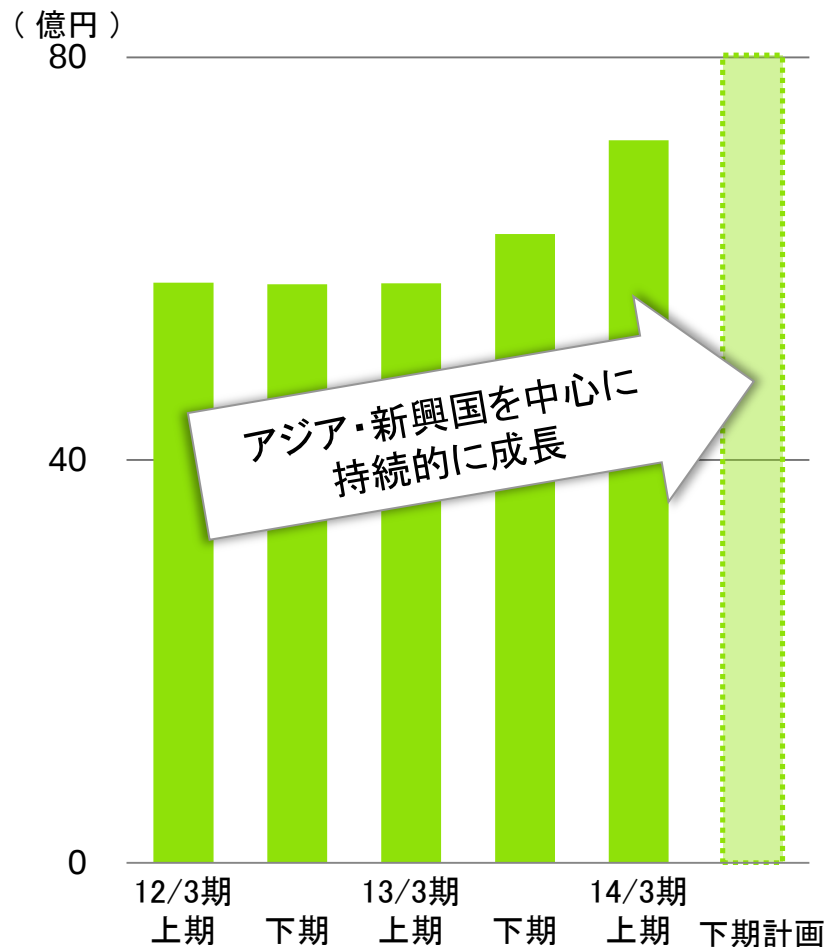


水処理装置 国内売上高

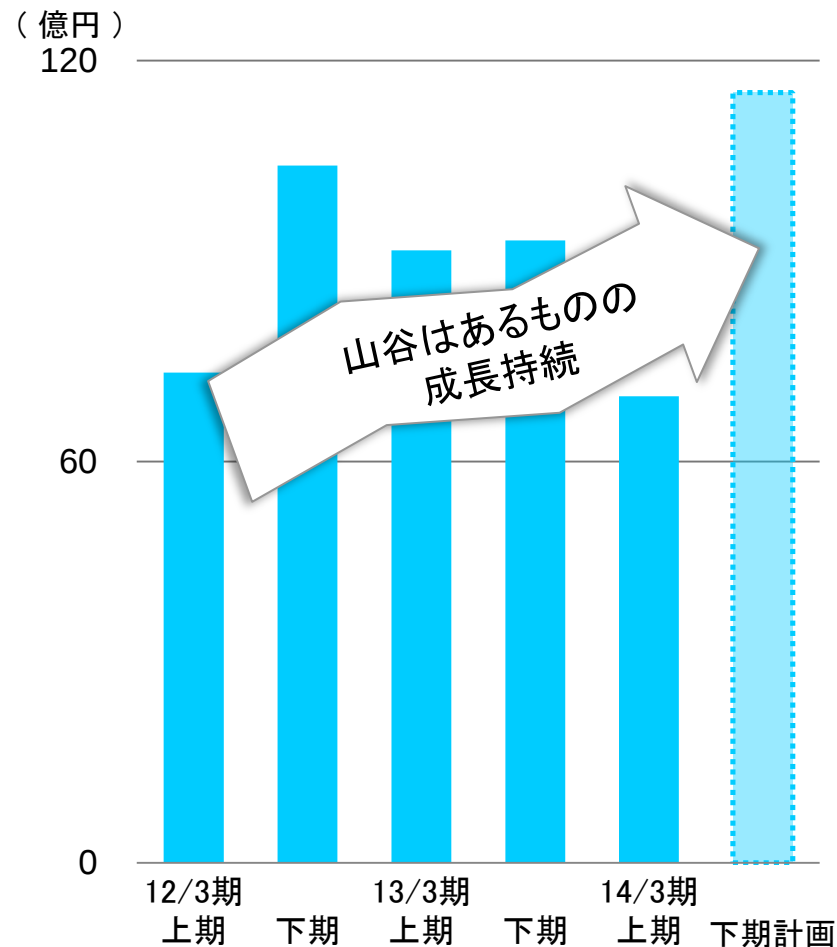


2. 海外需要見通し

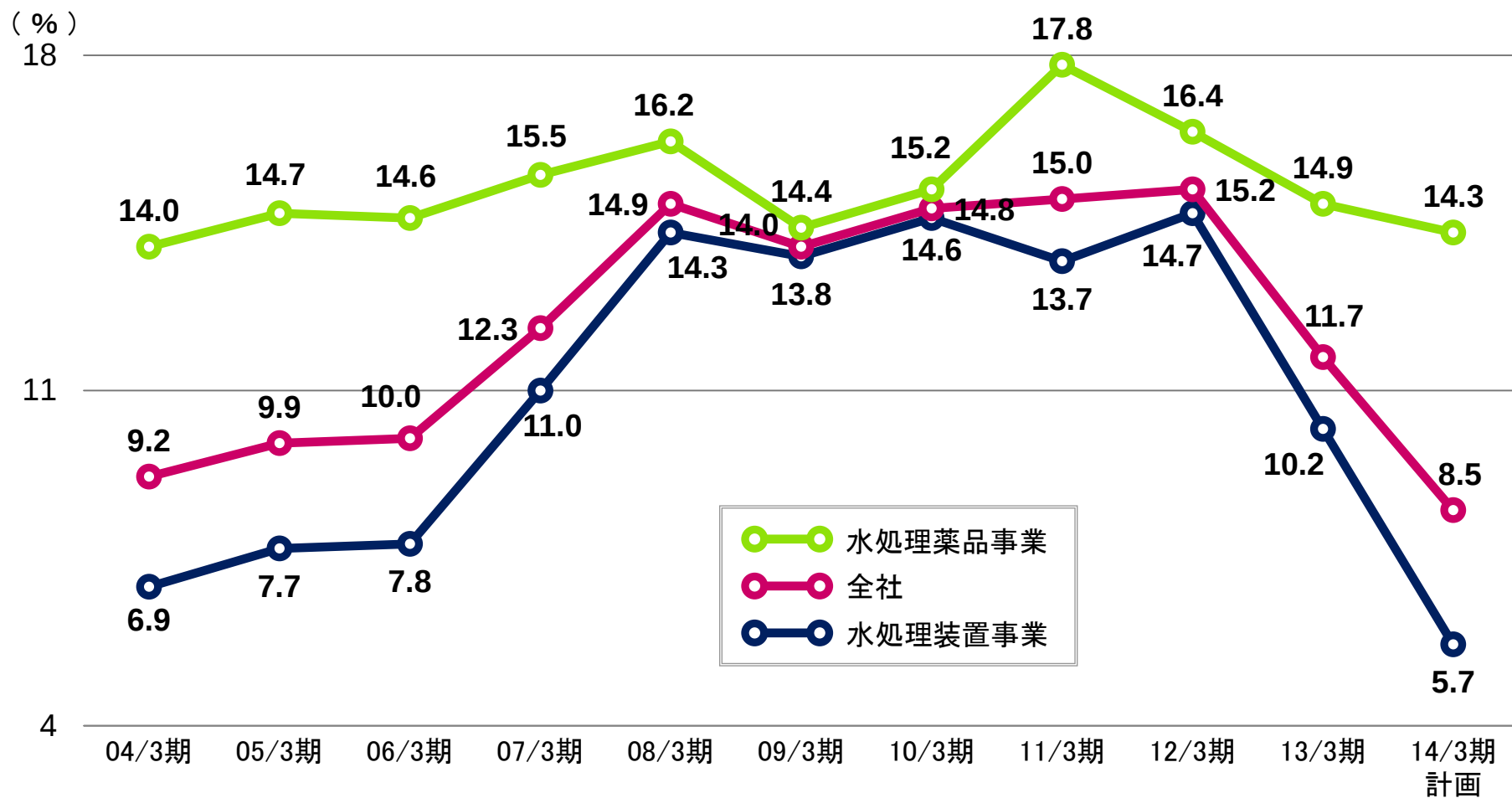
水処理薬品 海外売上高



水処理装置 海外売上高



3. 営業利益率の推移



4. 収益性の強化

現状の問題点・課題

- 競争激化による受注価格低下
- 案件の小型化による収益性低下
- 追加コストの発生

施策

- グループが一体となり総合力を発揮し、技術力をベースに、新製品・新サービスを含めた付加価値の高い提案を行う
- 営業・設計・生産部隊が連携して、規格化・標準化など原価改善に取り組む
- 設計・調達・施工管理の現地化を推進

5. 海外地域別施策

地域別収益向上策

中国・韓国

- クリタ蘇州・クリテック上海・韓水テクニカルサービスとの協業強化
⇒ 消耗品・規格品・改造工事などメンテナンス事業を拡大

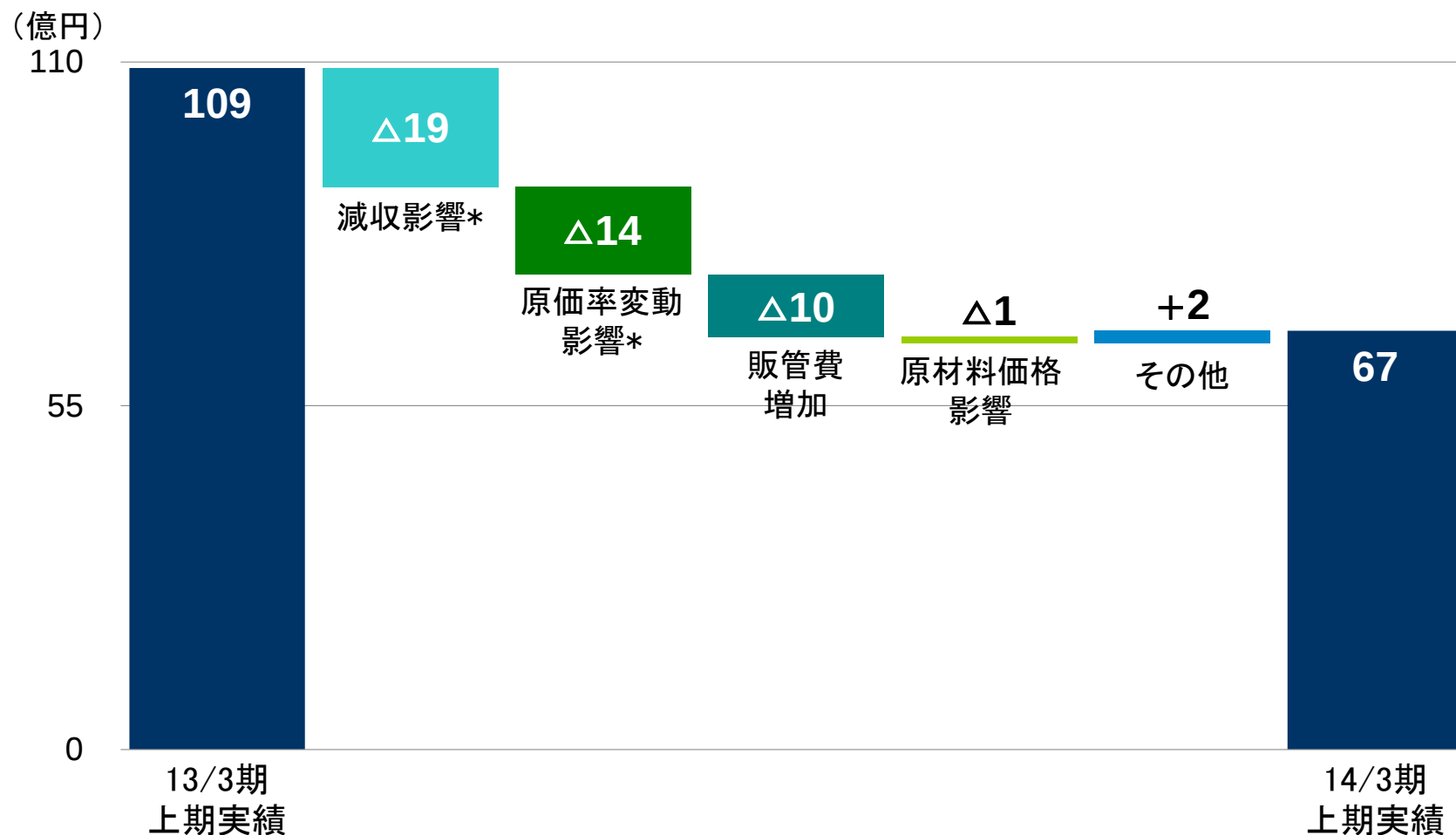
台 湾

- 装置のコストダウンを目的とした営業部門と生産部門の共同プロジェクトを立ち上げ
⇒ 標準化・現地化・購買力強化を早期に実現し、他社に勝る競争力をつける

東南アジア

- シンガポールに統括役員を配置、各拠点が連携強化し、薬品・装置・メンテナンスのシナジー発揮
- 域内拠点の整備・体制強化
- 各拠点の得意商品を集中生産、原材料一括購入、駐在員・現地スタッフの域内活用

2014年3月期 上期営業利益増減分析



* 増収効果と原価率変動影響は、売上総利益率を用いて算出しています。

栗田工業株式会社

■ U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>

■ M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。